

別記様式（第3条関係）

開催記録

名 称	令和6年度 第1回会津美里町子ども・子育て会議
開催日時	令和6年6月3日 18時 30分から 19時 40分まで
開催場所	会津美里町役場本庁舎 大会議室
出席者	委員及び事務局：別紙名簿の通り（欠席者2名） 委託業者1名
議 題	(1) こども家庭支援室について (2) こども計画について (3) こども家庭センターの設置検討について (4) その他
資料の名称	次第 資料1 会津美里町こども計画策定に向けて 資料2 第2期会津美里町子ども・子育て支援事業計画 資料3 こども家庭センターの設置検討について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
内容	
1 開会（小林 早苗 こども家庭支援室室長）	
2 会長あいさつ（山内 啓子 副会長）	
3 協議	
	(1) こども家庭支援室について
副会長：	それでは（1）について、事務局より説明をお願いします。
事務局：	こども家庭支援室について説明
副会長：	それでは、ただいまの説明についてご質問やご意見などありましたらお願いいたします。
副会長：	私から質問です。児童施設の中に、ファミリー・サポート・センターは入っているのですが、もう一つホームスタート事業もやっています、この中に入りますか。
事務局：	ホームスタート事業についても、児童施設の事務のほうで一緒に行っており

ます。

副会長： はい、ありがとうございます。

(2) こども計画について

副会長： それでは(2)について、事務局より説明をお願いします。

事務局： 会津美里町こども計画策定に向けて、こども計画の策定スケジュール案、こども計画の骨子案・計画素案の構成について説明

副会長： ただいまの説明に対して、感じたこと、ご意見、ご質問、アンケートの中で入りたい項目などありましたらお願いします。委員の皆さんからご意見はありますか。

委員： 令和6年度までの事業計画の引継ぎや反省点などが今は見えませんが、その検討はどのようになっていますか。それから、資料1などを見ますと、「何かしら問題を抱えているところの底上げをしましょう」「セーフティネットの役割をするんだ」というようにしか見えません。今普通に生活している子どもたちを、もっと幸せにするということも含まれるのですか。そうでなければ、問題を抱えている人を助けるために、もっと振り切るということも必要なのではないかと思います。どのような考え方で進むのですか。

事務局： 令和6年度までの評価と課題を引き継いで、来年度からの計画に活かしていきたいと思いますが、さらに今回のアンケートで保護者の方や児童、団体の方からいただいた課題を付け加えて、全体として取りまとめ、次回の会議の中で説明したいと思います。それから、今回は若者計画や貧困計画を入れていますので、困難世帯に対して底上げしていく必要はあるかと思っています。ただそれだけではなくて、現在の計画の中で十分ではない支援について、より幸福度の高める内容にしていくためには、どうするかも考えていく必要があると思います。

事務局： 貴重なご意見、ありがとうございます。ご指摘の通り、アンケートやヒアリングだと、どうしても課題が出てくる傾向があります。当然課題は重要なので、それに対してどういった対応をするのかもセーフティネットの面で重要だと思います。一方、未来を見据えたこども計画というのも考えていきたいと思いますので、バランスを取りながらポイントを絞って、重点を置くところは計画の中ではっきりさせていきたいと思います。

副会長： 課題と反省を踏まえつつ、アンケートで質問や不満が多かった項目を、少しでも令和7年度に取り組んでいけるような進め方が大事かと思いますので、よろしくをお願いします。

委員： 私も第2期の支援事業計画に携わって、この何年か流れをずっと見てきました。この基本目標の中にも、子育て支援センターを核とした子育て支援サービ

スの充実など入ってはいますが、実際に子育て支援の方をやっている「ぼけっと」さんなどをしっかりとした形で支えられていないというのが私の中では少し不満なところ。子育て支援センターが、新鶴地区、本郷地区、高田地区に一つだけではなくて、色々な拠点を設けてしっかりと子育て支援の核をつくっていかないと、子どもがどんどん減少している状況なので、本当に早急にやらないと消滅都市になってしまうと思います。その部分を、今回の新しいこども計画の中に組み込んでいってもらいたいと思います。あと、病後児保育についても出ていますが、子どもはあっという間に熱があがりますので、前回の計画で、児童が急な病気となった場合に各園の専用スペースで看護師が一時的に保育できる事業として、そこはすごく前進したと思います。しかし、本当に子どもにとってそれで大丈夫なのだろうかというところはしっかりと詰めていかないと、子どもの権利条約の部分もどんどん新しくなっていますので、その辺のことも計画の中にうまく盛り込んでいただきたいと思っています。

副会長： 私も病児保育、病後児保育については保護者から色々と声を聞きますが、今言われたように、何を大切にするべきなのだろうか、保護者は病気の子どものみるのがいろいろ大変でお願いしたいのではないだろうか、子どものことをどのように思って預けているのだろうかと考えるときもあります。しかし、やはり急に仕事をお休みするのは大変ですし、少しでも支援センターでできることはやっていき、保護者を助けていければと思っています。あとはファミリー・サポートもやっていますが、おうちでお子さんを見ることになるので病児は難しいですし、支援センターでもやはり1歳児未満のおさんは命に関わるリスクがあるので、町のほうで医療機関をしっかりとおさえていただければと思います。

ほかにご意見ありましたらお願いします。

委員： 保護者として、やはり子どもが赤ちゃんだったときは孤独になりがちですが、本当に色々なところに助けてもらったので、そういう居場所があるというのは本当にありがたかったです。私の場合は、主人が協力的だったので、「すくすくハウス」や「つくしんぼクラブ」など情報を探してきてくれましたが、情報が届いていない場所もあるかもしれないと思うと、家にこもって大変な思いをしている人がいるのではないかと気になりました。チラシなどで情報発信したとしても、自分が知っているものは目に入りやすいですが、余裕がないときに知らない情報は特に目に入らないと思いますので情報提供の場として、例えば健康診断のときに、チラシを配るのではなくて声で伝えるなど伝え方の工夫があってもいいのかなと思いました。ぜひ色々な発信方法を検討していただければと思います。

副会長： チラシを渡しても、広報に流しても、全然知らなかったという方もいますの

で、どのように情報を発信したらいいかは課題だと思います。

ほかに何かありますか。

委員： 必要としなければ情報は入ってこないというのは当たり前の話ですので、困ったとき、必要としたときにここに連絡しますというのだけをしっかりと伝えて、そこでガイダンスをするのが一般的だと思います。

(3) こども家庭センターの設置検討について

副会長： それでは(3) こども家庭センターの設置検討について、事務局より説明をお願いします。

事務局： こども家庭センターの設置検討について説明

副会長： この矢印の下のように、子ども食堂とありますが、会津美里町では行われているのですか。

事務局： 今役場としてはやっていますが、確か有志の方が本郷地区でされていて、生協さんから食料の支援をいただいていると聞いています。

委員： 今の子ども食堂に関してですが、本郷地区の「ひだまり」という団体がありまして、そこで月に1回カレーライスなどを提供していたことがあったんですけど、確かコロナで食事の提供を休止しています。今は、宿題の支援とコープさんから提供されたおやつ配布をしている状況だと思います。

副会長： ほかにご質問はありますか。

委員： こども家庭センターは機能的な部分でということはわかりますし、町の予算がこれから厳しくなっていく状況とか、箱物をつくらないという状況は聞いてはいますが、これからの世代のことを考えると、こども家庭センターというのを単体で設けることができないかというのが私の希望で、役場の中にあっても人は集まってこないと思います。駐車場の脇辺りが空いているので、そのような別の場所に自由に出入りできる施設ができれば、支援を求める人たちの需要も増えていくのではないかと思いますので、その辺も検討していただけないかと思います。拠点は見えないところにあるより、見えるところにあったほうがいいと思います。

事務局： こども家庭センターというのは、基本的に建物というよりは機能ということで、確かに考え方としてそういった施設があっても窓口も一元的になっていたほうがわかりやすいというのもわかりますが、今のところ施設を建てる計画はありません。ただ、例えばほかの場所の利活用等はあると思いますので、それも含めて検討させていただければと思います。

(4) その他

副会長： (4) その他について何かありますか。私から質問ですが、このようにたく

さんのアンケートを取って集計していただいておりますが、町民への公表はどのようになっていますか。

事務局： 子ども・子育て会議の内容の開示については、ホームページに開催記録を載せたいと思っています。全戸配布などは難しいですが、ホームページに載せるのは対応可能だと思います。再度整理をして公表したいと思います。

副会長： それでは、（１）から（４）の協議をこれで終わらせていただきます。ありがとうございました。

事務局： 次回の会議予定について説明

事務局： 以上をもって、「令和６年度 第１回会津美里町子ども・子育て会議」を終了いたします。ありがとうございました。

４ 閉会（小林 早苗 子育て家庭支援室室長）

以上、開催記録として報告します。

委員名簿

(敬称略)

No.	氏名	所属	備考	出欠
1	星 直子	高田地域保護者代表		
2	星 真崇	本郷地域保護者代表		
3	齋藤 優	新鶴地域保護者代表		欠席
4	天笠 昌明	認定こども園ひかり理事長		
5	安達 和重	社会福祉法人 会津美里町社会福祉協議会		
6	山内 啓子	NPO法人子育てネットワーク 「ぼけっと」理事長	副会長	
7	長嶺 和子	新鶴こども園長		
8	渡部 琢也	公立大学法人会津大学 会津大学短期大学部 幼児教育学科 講師	会長	欠席
9	佐藤 義雄	一般公募		

事務局

所 属	職 名	氏 名
健康ふくし課	課長	渡部 明宏
	こども家庭支援室 主幹	福田 富美代
	こども家庭支援室 室長	小林 早苗
	こども家庭支援室 こども家庭支援係長	阿部 健太郎
	こども家庭支援室 こども家庭支援係 主査	上野 裕道
こども教育課	課長	大竹 淳志
	こども教育係長	榎森 正典